
起きてくださいご主人様！起きたら僕、キスします！

白黒 朝夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

起きてくださいご主人様！起きたら僕、キスします！

【Nコード】

N02980

【作者名】

白黒 朝夜

【あらすじ】

大富豪の執事（16歳）がご主人様（20歳）を起こすようです。中々起きないご主人様に執事はついにあの手を使った！！

変態ご主人様と、メイド服を着た執事のストーリーー

（前書き）

え！？

ご主人様がどんな人か、ですか？

えっと・・・

執事の僕にメイド服を着せたり、

一緒にお風呂に入るルールを作ったり、

女性用の下着を穿かせたりする、すばらしい人です。

あれ？おかしいな？何で涙が出るんだろう・・・。

「あの……。」

目の前にいる美青年に声をかける。

……返事は無し。

「ご主人様あ……。」

呼んでみる。

反応は無し。

この方は僕のご主人様の伊集院祐次様^{いじゅういんゆうじ}。

大学生でおられます。

僕は祐次様の専属の執事、井上春樹^{いのつえはるき}です。

高校生です。

ご主人様が遅刻なさらないようちゃんと起こすのも、執事の役目です。

ご主人様の綺麗な金髪を触ってみる。

「ん……。」

あ、起きた！やったー！

「……。」

あれ？

「ご主人様？」

返事はない。

二度寝……。

どうしよう、ご主人様が起きてくださらないと執事長に怒られます・……。

仕方がありません。

「起きてくれたら、僕・・・キスします!」

がばっ!

・・・起きた。

執事の僕にメイド服を着せるご主人様ですが、まさか、これで起きるとは・・・。

「おはようございます。今朝はいいお天気ですよ。」

笑顔でいつもの朝の挨拶をする。

「おい。」

「はい。何でしょう。」

「キス。」

「いいお天気ですね。」

ここはなるべく話を逸らしたほうがいいようです。

「あ、僕は朝食の準備を手伝わないといけないのでこれで失礼いたします。」

「・・・待て。」

腕を掴まれる。や・・・ヤバイなのです。

「親に約束は守るように教わらなかったか?」

「何の話か分らないのですが・・・」

「じゃあ、体に訊くか。」

「ごめんなさい!キスをする、約束しました!」

顔を近づけられる。ぎゅっと目をつぶる。

「何をしている。お前からキスをしろ。」

「え・・・」

「早くしろ。」

意地悪です・・・。

ご主人様の蒼い瞳が僕を見えています。

「あの・・・。」

「なんだ。」

「見られているとしづらいのですが・・・」

「仕方が無いな。」

ご主人様が目を閉じる。

逃げようとしたが、腕を掴まれていて逃げられません。

僕も男です！覚悟を決めます！

軽く頬にキスをした。

「・・・。」

「しましたよ。さあ、学校の準備を・・・」

「キスの仕方もあるのか・・・。」

「え？キスしましたよね？」

「キスはこうするんだ。」

「ふえ！？」

押し倒されたと思ったら、いきなり唇にご主人様の唇が触れた。

「!？」

僕の口の中をご主人様が舐め回す。

そして、やっとご主人様の唇が離れた。

「これがキスだ。」

「・・・。」

「どうした？」

「ひ、ひどいです！ファーストキスだったのに！！」
目から涙がこぼれる。

ムラ・・・

「ご主人様の意地悪・・・。」
涙が止まらなくなる。

ムラムラ・・・

「謝っても、許しませんから！！」
「すまん。」

え？謝った？あの、ご主人様が？

「理性が飛んだ。」

「・・・え？ええええええ！！」

ムラムラムラ・・・

ちょ、あの、ち、近づかないください！
す、スカートの中に手を入れないでくだ・・・
や、やめ、何で服を脱がすんですか！！
そ、そこはらめですう・・・

「春樹？」

「何ですか？先輩。」

「なんで、求人情報見てるんだ？」

「何も訊かないで下さい。」

「え・・・ごめん。」

（後書き）

ご主人様が執事に何をしたかは、
ご想像にお任せします。

呼んでくださりありがとうございます！
あなたは、神様です！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0298o/>

起きてくださいご主人様！起きたら僕、キスします！

2010年10月11日14時31分発行